

令和6年 最初のご挨拶

MESSAGE

秋田工業高等学校同窓会

会長 工藤 嘉範 (昭和51年土木科卒)

全国各地、あるいは地球規模でご活躍中の、母校卒業生、金砂会の皆様に対しまして、同窓会を代表し、衷心より感謝申し上げます。

母校は本年、令和6年度学校創立120周年の節目を迎える事となっています。これまでものづくりの世界をリードする人材を絶え間なく、3万余名の卒業生を社会へと輩出して参りました。こうした伝統を築き続けて下さった同窓各位のご奮闘、ご努力にあらためて敬意を表するものです。

言うまでも無く、秋田県における高校教育の現状は、少子化の影響を強く受けており、高等学校の再編計画や高校における募集生徒の定員割れを生じるなど、学校経営に大きな懸念材料を抱える時代となっています。しかしながら、母校秋田工業高校においては、この先も県内のものづくり教育の拠点校として、存在が重要視され大きな役割を担う事が期待されています。

文武両道を旨とする本校の教育方針に則り、これからも明るく元気で優秀な後輩達がものづくりの社会に貢献してくれる事を大いに期待したいと思います。我々同窓生の喜びは何よりも在校生の活躍によって、社会に対し秋田工業高校の名声を高めて頂くことでありますから、今後とも母校の動向に関心をお寄せ頂き、後輩達の活躍に物心両面からご支援を賜れば幸いに存じます。

結びに、同窓会員皆様のご活躍とご健康をお祈りし、ご挨拶とさせていただきます。今年一年どうぞよろしく願いいたします。